

氏 名	宗 政 充
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 3779 号
学位授与の日付	平成21年3月25日
学位授与の要件	医学研究科内科系内科学(二)専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Expression of Thyroglobulin on Follicular Dendritic Cells of Thyroid Mucosa-Associated Lymphoid Tissue (MALT) Lymphoma (甲状腺MALT(mucosa-associated lymphoid tissue)リンパ腫の濾胞樹状細胞におけるサイログロブリン発現の検討)
論文審査委員	教授 松川 昭博 教授 槇野 博史 准教授 土井原 博義

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

甲状腺MALTリンパ腫と橋本病は密接な関連があることが知られているが、それを惹起しうる抗原については明らかでない。今回我々は甲状腺自己抗原の一つであるサイログロブリン(Tg)に対するB細胞の反応と甲状腺MALTリンパ腫との関係を検討した。甲状腺MALTリンパ腫患者15例より得た標本を用いTg、CD35の発現を検索した。結果はTgの発現について濾胞上皮と樹状細胞ともに陽性であった。CD35に対する反応については甲状腺MALTリンパ腫の濾胞樹状細胞に陽性であった。また、抗ヒトTgウサギポリクローナル抗体と抗CD35マウスモノクローナル抗体の二重染色にてTg、CD35とも同じ濾胞樹状細胞に発現していることが確認され、甲状腺自己抗原であるTgが甲状腺MALTリンパ腫組織の濾胞樹状細胞上へ発現していることが示唆された。われわれは本研究で甲状腺MALTリンパ腫細胞の認識する抗原のひとつである、Tgによって惹起される自己免疫反応により誘導されるB細胞の増殖が甲状腺MALTリンパ腫の発生と病因に係わる可能性を示唆した。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

甲状腺 MALT リンパ腫と橋本病は密接な関連が示唆されているが、関連抗原については明らかでない。本研究では、甲状腺自己抗原の一つであるサイログロブリン (Tg) と甲状腺 MALT リンパ腫の関係を検討した。甲状腺 MALT リンパ腫患者 15 例より得た標本を用いて Tg および CD35 (濾胞樹状細胞 FDC マーカー) の発現を免疫組織学的に検討した。その結果、甲状腺 MALT リンパ腫の FDC に Tg が発現していることを確認した。以上より、Tg が甲状腺 MALT リンパ腫の認識する抗原の一つである可能性を示した。MALT リンパ腫細胞の Tg への反応性を確認する必要があるが、実際の貴重な臨床例を用いて Tg によって誘導される自己免疫反応が甲状腺 MALT リンパ腫の発生に関わる可能性を示した点は大いに評価できる。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。